

2022年3月期 決算説明資料

株式会社アイスコ | 証券コード：7698
東証スタンダード市場



I Care Everybody Company

あらゆる人々に慈しみの心をもって接する企業でありたい

目次

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. 会社概要 | P.3 |
| 2. 2022年3月期 決算概要 | P.7 |
| 3. 2023年3月期 業績予想 | P.17 |
| 4. 株主還元 | P.22 |



1. 会社概要





 **アイスコ**
代表取締役社長
相原 貴久

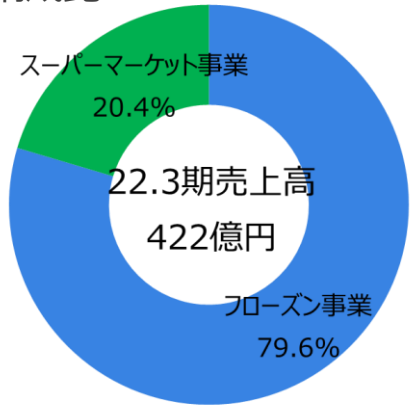
I Care Everybody Company

～あらゆる人々に慈しみの心をもって接する企業でありたい～

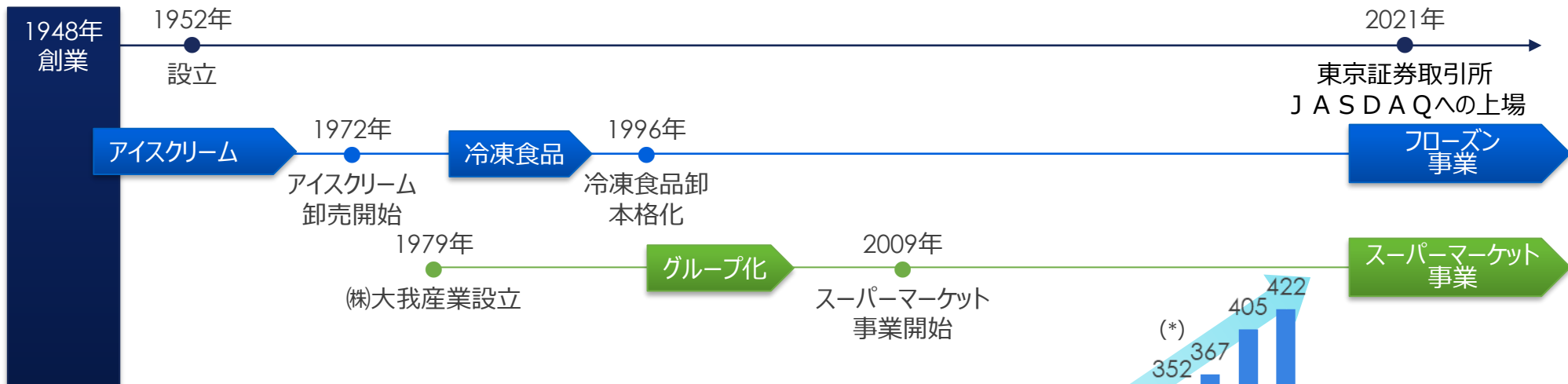
行動指針

- 1、「情熱・挑戦」情熱を持って、常に新しい事に挑戦していく。
- 2、「努力・決意」日々の努力と、絶対に諦めないという強い決意を持つ。
- 3、「感謝・謙虚」常に感謝の気持ちと謙虚な心を忘れない。

以上3つを掲げ、お客様に感動と満足を感じて頂ける、そして社員一人一人が、生き活きとやりがいを持って、仕事ができる企業を目指していきます。

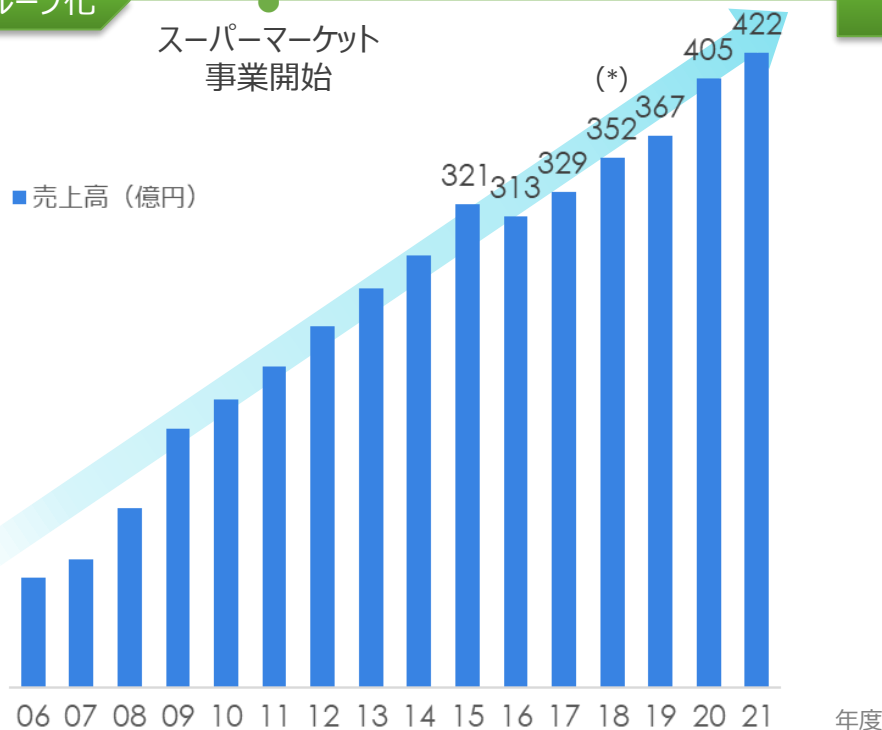
社名	株式会社アイスコ 【英文名】Iceco Inc.
本社	神奈川県横浜市泉区新橋町1212番地
代表者	代表取締役社長 相原 貴久
創業	1948年5月
資本金	350百万円（2022年3月31日現在）
従業員数	694名（他臨時雇用者291名）（2022年3月31日現在）
事業内容	アイスクリーム類及び冷凍食品等の卸売、スーパーマーケット
売上構成比	<p>売上構成比</p>  <p>スーパーマーケット事業 20.4%</p> <p>22.3期売上高 422億円</p> <p>フローズン事業 79.6%</p>

□ 1948年5月に創業し、一貫してフローズン事業を展開



本社社屋

神奈川県横浜市泉区
新橋町1212番地



*16年度からリポートを売上として計上しない会計方針に変更

2. 2022年3月期 決算概要



2022年3月期 決算概要 計画比



- 燃料費の高騰による物流コスト増加により計画比で減益
- スーパーマーケット事業は店舗閉鎖損と収益性の低下に伴う減損損失を計上

(単位：百万円)	2022年3月期 計画	構成比	2022年3月期 実績	構成比	増減額	増減率
売上高	41,993	100.0%	42,264	100.0%	271	0.6%
売上総利益	7,627	18.2%	7,580	17.9%	△47	△0.6%
販売費及び一般管理費	7,127	17.0%	7,227	17.1%	99	1.4%
営業利益	500	1.2%	353	0.8%	△146	△29.3%
経常利益	539	1.3%	409	1.0%	△129	△24.0%
当期純利益	377	0.9%	255	0.6%	△121	△32.3%

2022年3月期 決算概要 前期比

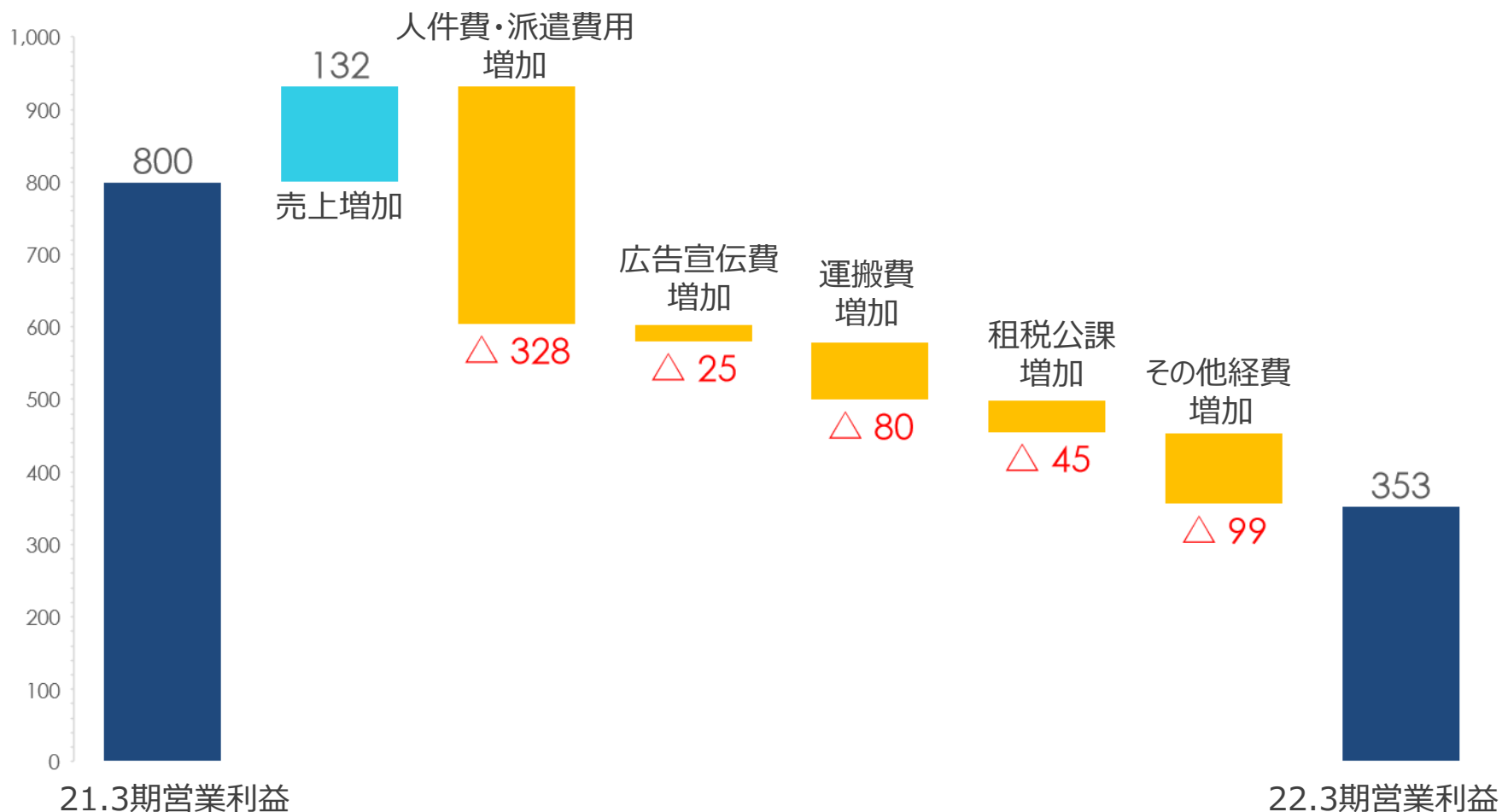


- 前期の巣ごもり需要の反動及び燃料費の高騰による物流コスト増加により減益となったが、内食需要の増加や冷凍食品の市場の拡大等によりフローズン事業が売上高をけん引し増収
- スーパーマーケット事業は店舗閉鎖損引当金繰入と収益性の低下に伴う減損損失を計上

(単位：百万円)	2021年3月期 前期	構成比	2022年3月期 当期	構成比	増減額	増減率
売上高	40,551	100.0%	42,264	100.0%	1,713	4.2%
売上総利益	7,447	18.4%	7,580	17.9%	132	1.8%
販売費及び一般管理費	6,647	16.4%	7,227	17.1%	579	8.7%
営業利益	800	2.0%	353	0.8%	△446	△55.8%
経常利益	855	2.1%	409	1.0%	△445	△52.1%
当期純利益	523	1.3%	255	0.6%	△268	△51.3%

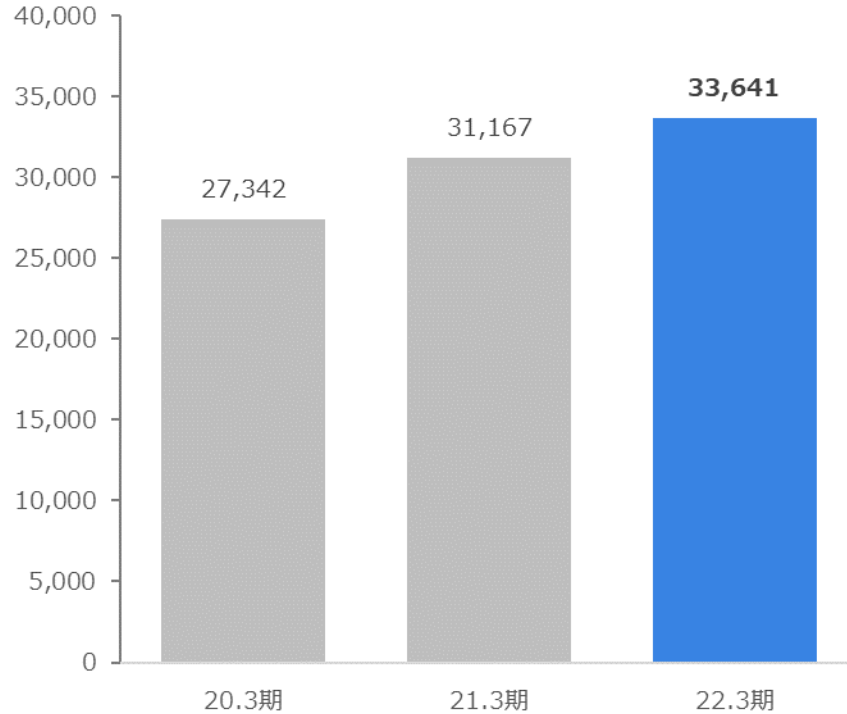
- 巣ごもり需要の反動により営業利益は前期と比べて減益。フローズン事業の北関東エリア売上拡大のための人件費及び派遣費用が増加。生産性の向上のため、DXなどの施策を実施。

(単位：百万円)

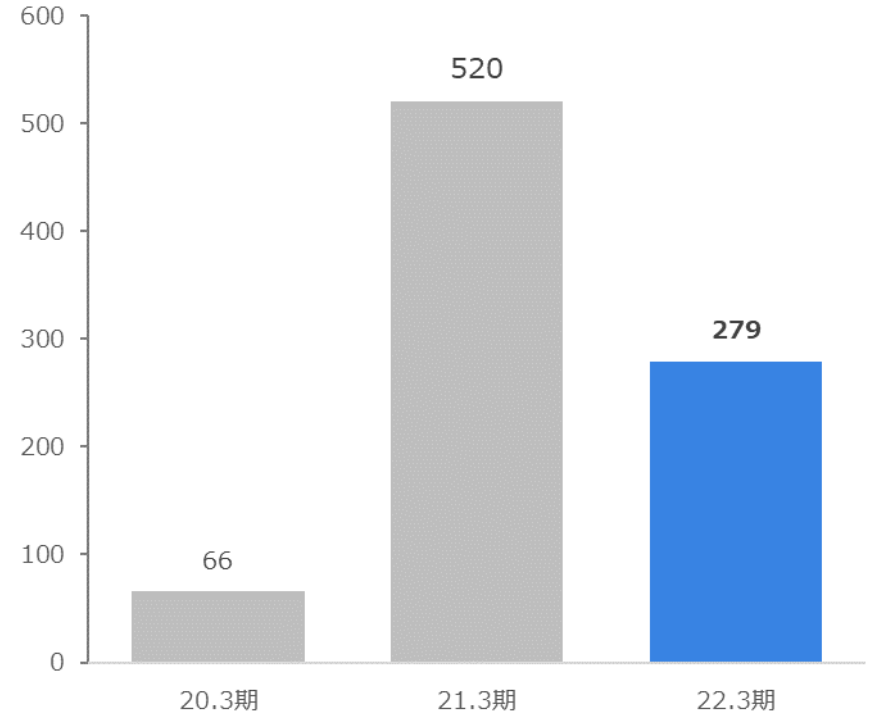


- 売上高は既存得意先の出店や、新規得意先の開拓により増収
- セグメント利益は巣ごもり需要の反動と人件費・派遣費用の増加により減益

セグメント売上高推移（百万円）



セグメント利益推移（百万円）



セグメント別業績 - フロースン事業 業態別/カテゴリ別売上

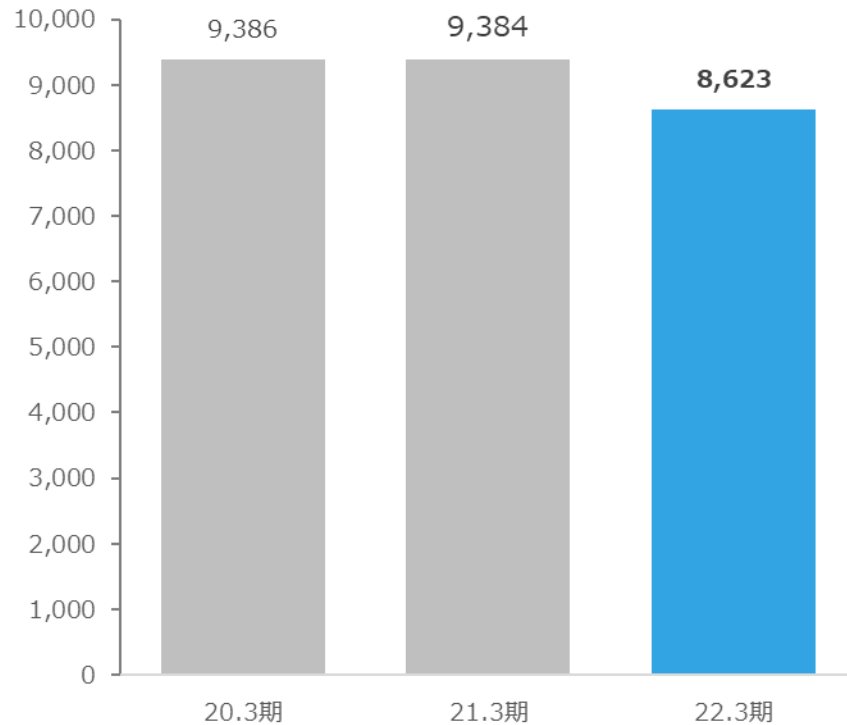


(単位：百万円)	2021年 3月期	構成比	2022年 3月期	構成比	増減率
ドラッグストア	14,724	46.9%	16,076	47.5%	9.2%
ディスカウントストア	9,531	30.4%	10,178	30.1%	6.8%
食品スーパー	5,027	16.0%	5,614	16.6%	11.7%
その他	2,107	6.7%	1,986	5.9%	△5.7%
合計	31,391	100.0%	33,857	100.0%	7.9%

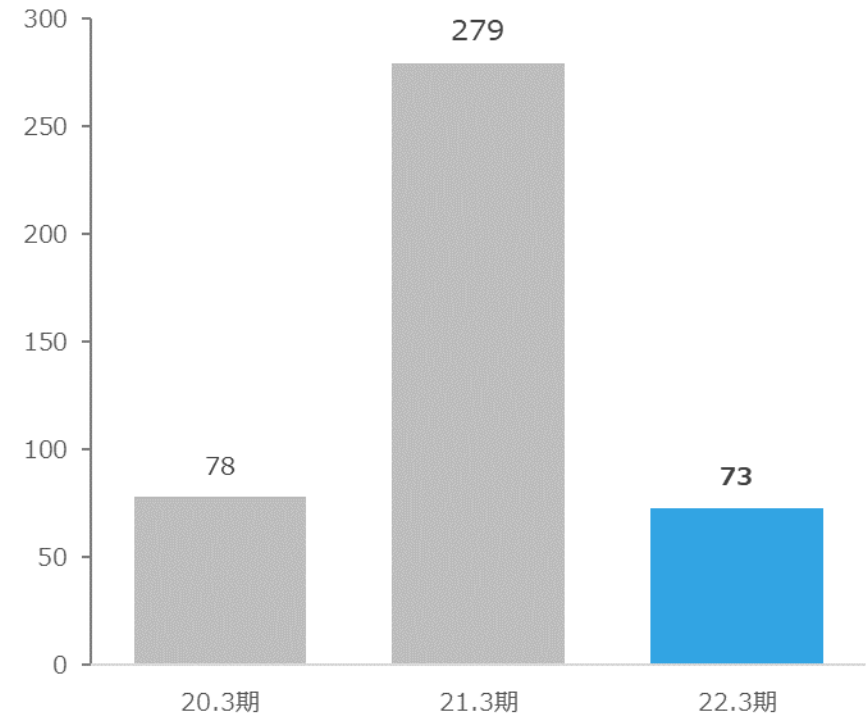
(単位：百万円)	2021年 3月期	構成比	2022年 3月期	構成比	増減率
冷凍食品	16,705	53.2%	19,044	56.2%	14.0%
アイスクリーム	14,019	44.7%	14,165	41.8%	1.0%
その他	666	2.1%	647	1.9%	△2.9%
合計	31,391	100.0%	33,857	100.0%	7.9%

- ❑ 前年の新型コロナウイルス感染症拡大による巣ごもり需要の反動等の影響によりセグメント売上高及びセグメント利益は減少
- ❑ 2022年4月に静岡に1店舗だけある浜松店舗を閉店し、神奈川県内の店舗に集中

セグメント売上高推移（百万円）



セグメント利益推移（百万円）



2022年3月期 貸借対照表



(単位：百万円)	2021年3月期 期末	2022年3月期 期末	増減額
流動資産	7,714	8,499	784
固定資産	6,601	6,360	△240
有形固定資産	5,260	5,049	△210
無形固定資産	40	27	△13
投資その他の資産	1,301	1,283	△17
資産合計	14,316	14,860	544
負債合計	11,978	11,787	△191
流動負債	8,809	8,670	△138
固定負債	3,169	3,116	△52
純資産合計	2,337	3,072	735
負債・純資産合計	14,316	14,860	544
1株当たり純資産（円）	1,455.27	1,610.92	155.65
自己資本比率	16.3%	20.7%	4.4P

2022年3月期 キャッシュフロー



(単位：百万円)	2021年3月期	2022年3月期	増減額	主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	1,105	992	△112	<ul style="list-style-type: none"> 税引前当期純利益422百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	△312	△234	77	<ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産の取得 △331百万円 保険積立金の解約による 収入+98百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△347	△148	199	<ul style="list-style-type: none"> 株式発行収入+547百万円 短期借入金の返済△550百万円 長期借入金の返済△455百万円 配当金の支払△74百万円
現金及び現金同等物の 期末残高	1,677	2,287	610	

- 収益認識会計基準を2022年3月期当事業年度の期首より適用。2021年3月期までは総額表示していたスーパーマーケット事業のテナント売上高及び売上原価を、2022年3月期より純額で売上高に計上する。

2022年3月期

(単位：百万円)	変更前	会計方針 の変更	変更後
売上高	42,663	△398	42,264
売上原価	35,082	△398	34,684
売上総利益	7,580	—	7,580
売上総利益率	17.8%	—	17.9%

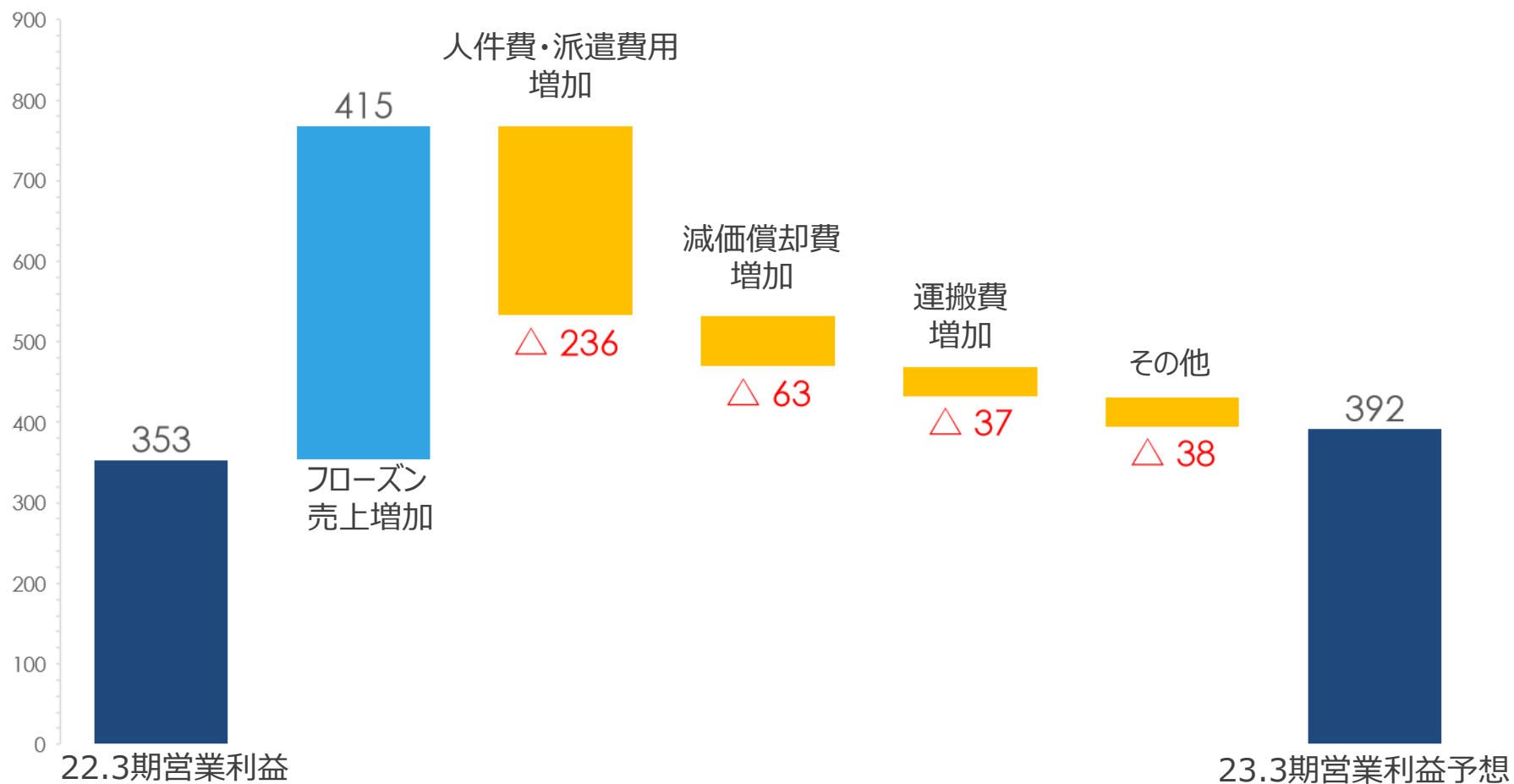
3. 2023年3月期 業績予想



- 売上高は主要得意先の出店や、好調な内食・中食需要に支えられ増収を計画
- 利益面は売上の増加に応じた人件費等の増加や原油価格高騰による燃料費等の費用が増加するものの、冷凍食品、アイスクリームの価格改定や生産性向上により増益を計画

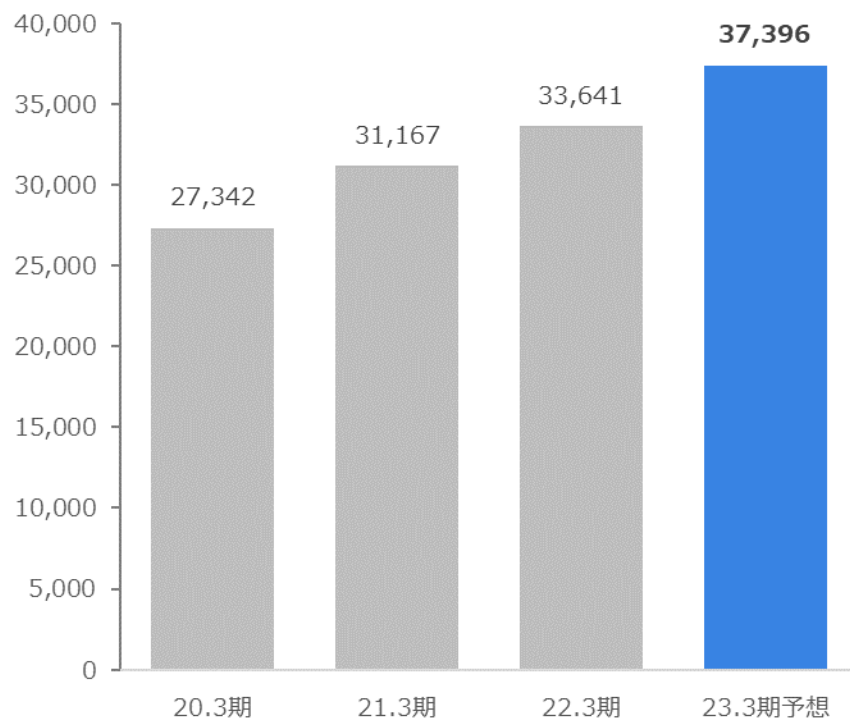
(単位：百万円)	2022年3月期	構成比	2023年3月期 予想	構成比	増減額	増減率
売上高	42,264	100.0%	45,612	100.0%	3,347	7.9%
売上総利益	7,580	17.9%	7,995	17.5%	415	5.5%
販売費及び一般管理費	7,227	17.1%	7,603	16.7%	376	5.2%
営業利益	353	0.8%	392	0.9%	38	11.0%
経常利益	409	1.0%	438	1.0%	29	7.1%
当期純利益	255	0.6%	283	0.6%	28	11.2%

- 売上の増加に応じた人件費等の増加や原油価格高騰による燃料費等の費用が増加
- 冷凍食品、アイスクリームの価格改定により経費増加を吸収

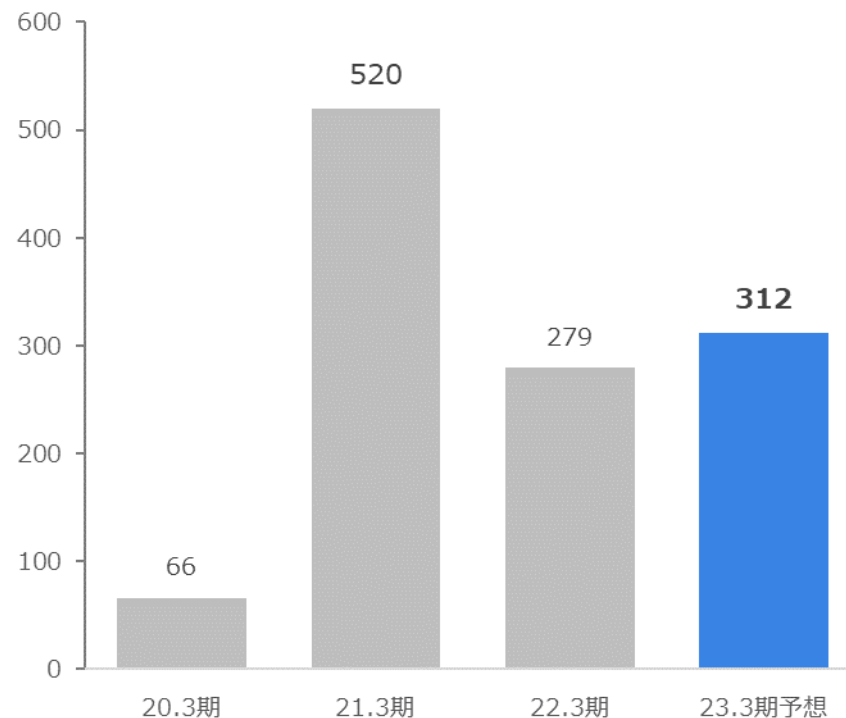


- 主要得意先の出店や好調な内食需要により増収を計画
- 人件費の増加や燃料費の高騰により軽油代等の費用が増加する見込みだが、価格改定に伴う収益改善やDXを用いた生産性の向上により増益を計画

セグメント売上高推移（百万円）

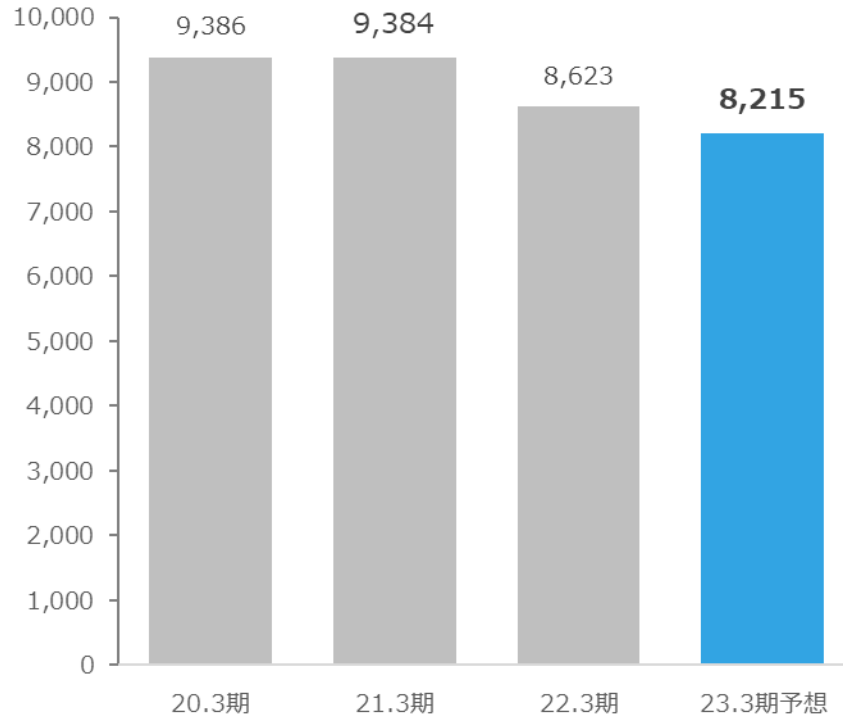


セグメント利益推移（百万円）

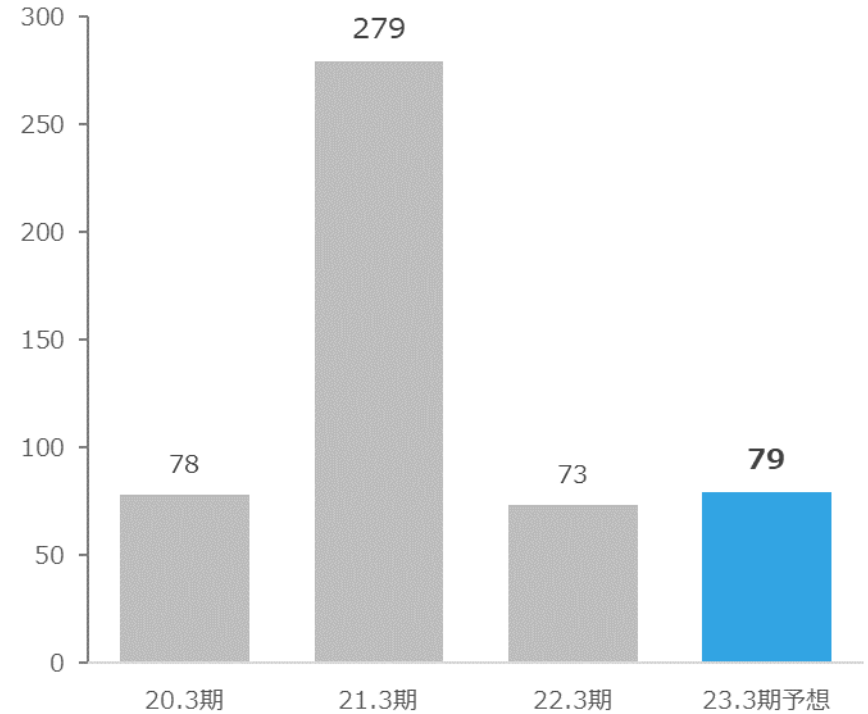


- 1店舗を閉店により売上高は減少、不採算店の閉店と減損処理のスクラップによりセグメント利益は微増の計画、神奈川県内の店舗に集中し、体制を見直すことで事業の立て直しを図る

セグメント売上高推移（百万円）



セグメント利益推移（百万円）



4. 株主還元



□ 配当方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元が経営の重要政策の一つであると考えており、業績や将来の事業展開、収益力の向上、財務体質の強化のための内部留保などを総合的に勘案しつつ、安定した配当を継続することを配当政策の基本方針としております。

2022年3月期 配当金実績

中間配当

期末配当

年間配当

19
円/株18
円/株37
円/株

(普通配当17円/上場記念配当2円)

2023年3月期 配当金予想

中間配当

期末配当

年間配当

19
円/株18
円/株37
円/株

□ 本資料に関するご照会先

株式会社アイスコ

経理部・経営企画部

E-mail : ir-info@iceco.co.jp

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。